

横浜市記者発表資料

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

令和7年10月3日
医療局健康安全課
衛生研究所感染症・疫学情報課

インフルエンザの流行が始まりました

横浜市では、感染症法に基づき感染症発生動向調査を実施しています。令和7年第39週（9月22日～9月28日）の全市集計において、流行期入りの目安となる基準（1定点医療機関※1当たり1週間の患者報告数1.00人）を超える、「1.64」となり、2025/2026シーズンの流行期に入りましたのでお知らせします。市民の皆さん一人ひとりが早めに予防策を取りましょう。

※1 定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告する医療機関（市内90か所）。

令和7年4月7日から定点医療機関数に変更があったため、変更前に使用していた基準を参考としています。

市内定点当たりの患者報告数

年・週	期間	患者報告数（人）（※2）	備考
令和7年第36週	9月1日～9月7日	0.31	
第37週	9月8日～9月14日	0.59	
第38週	9月15日～9月21日	0.71	
第39週	9月22日～9月28日	1.64	流行期入り

※2 患者報告数は医療機関からの追加報告により、数値が変動します。

【参考】横浜市感染症情報センターWebページ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/eiken/idsc.html>

インフルエンザにかかるない、うつさないためのポイント



インフルエンザにかかったかもしれないと思ったときは

□人混みへの外出を控え、無理をせず十分に休養をとりましょう。

□高熱が続く、呼吸が苦しい、意識状態がおかしいなど、具合が悪ければ早めに医療機関を受診しましょう。

□乳幼児や高齢者、妊婦、免疫力の低下、基礎疾患のある方は特に重症化しやすいため、心配な場合は早めに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザの予防接種について

□重症化予防のため予防接種を受けましょう。（高齢者インフルエンザ予防接種は10月から開始しています。）

【参考】厚生労働省Webページ 「インフルエンザ（総合ページ）」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou/infuienza/index.html

お問合せ先

（感染症対策全般について）医療局健康安全課長

竹澤 智湖 Tel 045-671-2442

（感染症発生動向について）衛生研究所感染症・疫学情報課長

横山 涼子 Tel 045-370-9279

横浜市インフルエンザ流行情報 1 号

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

横浜市内はインフルエンザが増加し始めました

【第 39 週(9 月 22 日～9 月 28 日)の概況】

- ✓ 定点あたりの患者報告数※1 は、横浜市全体で 1.64 となり、3 週連続して増加しています。
- ✓ 年齢別では、15 歳未満の報告が全体の 78.0% を占めています。
- ✓ 学級閉鎖等は 7 校(小学校 4、中学校 2、高等学校 1)で、患者数は 84 人です。

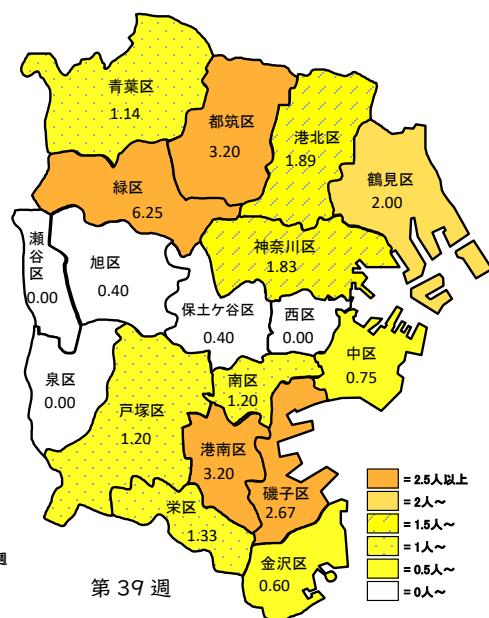
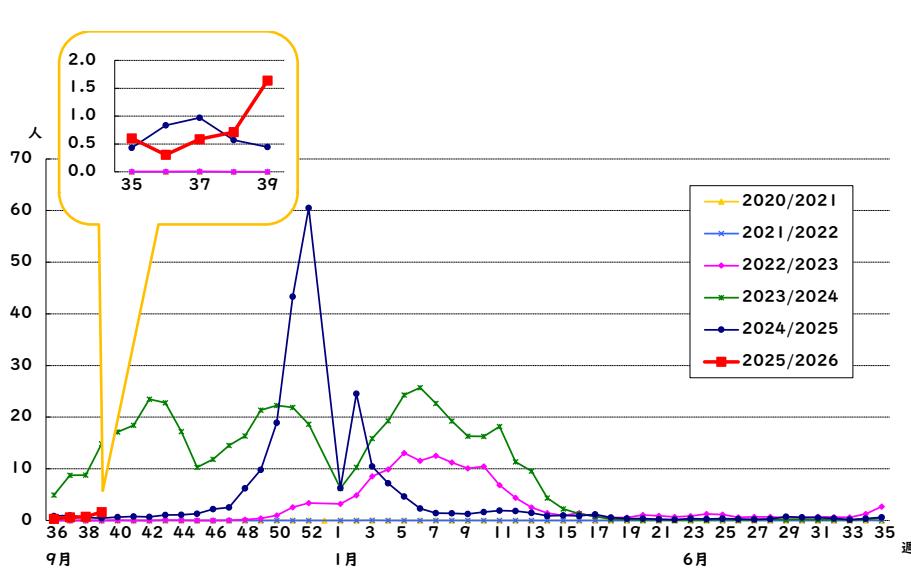
☞ ワクチン接種・咳エチケット・正しい手洗い※2 等、早めの対策が重要です。

※1 定点あたりの患者報告数とは、1 週間に 1 回、定期的にインフルエンザ患者発生状況をご報告いただく医療機関(市内 90 か所)からの患者報告数の平均値です。

※2 令和 6 年度インフルエンザ Q&A | 厚生労働省に、インフルエンザの予防方法等について掲載されています。

【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、2025 年 9 月上旬(第 37 週 0.59)以降、3 週連続して増加しており、第 39 週に 1.64 となりました。



最新の感染症情報はこちら



横浜メディカル
ダッシュボード



衛生研究所
インスタグラム

【お問い合わせ先】

横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課

TEL 045(370)9237

横浜市医療局健康安全課

TEL 045(671)2463